

③ 都市計画公園

- ・都市計画公園として、街区公園 35 箇所、近隣公園 2 箇所、地区公園が 3 箇所、総合公園、運動公園などをあわせると、合計 45 箇所、212.89ha が計画決定されており、供用面積は 193.36ha、供用率は 90.8%となっています。
- ・住区基幹公園（街区公園、近隣公園、地区公園）は土地区画整理事業に合わせて整備されたものが多くなっています。

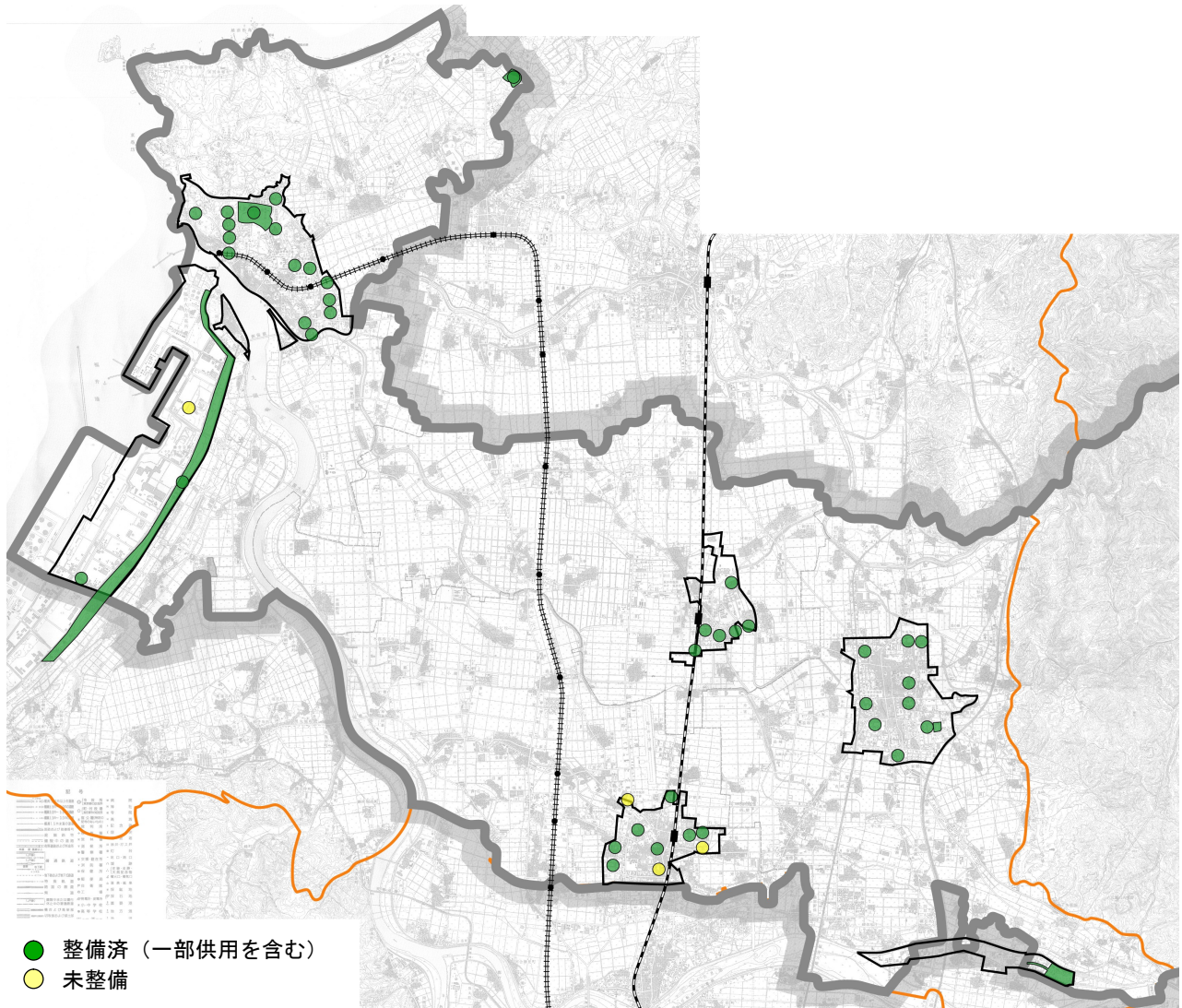


図 都市計画公園の整備状況（資料：庁内資料）

④ 用途地域

- ・坂井市では、1,798ha を用途地域に指定しており、都市計画区域面積（13,735ha）の約13%に当たります。
- ・商業系用途地域は、三国駅周辺、丸岡バスターミナル周辺、テクノポート福井の一部などに指定されています。
- ・工業系用途地域は、テクノポート福井、坂井中部工業団地周辺などに指定されています。
- ・丸岡市街地、春江市街地内には準工業地域が多く指定されており、幹線道路沿道の一部についても準工業地域が指定されています。

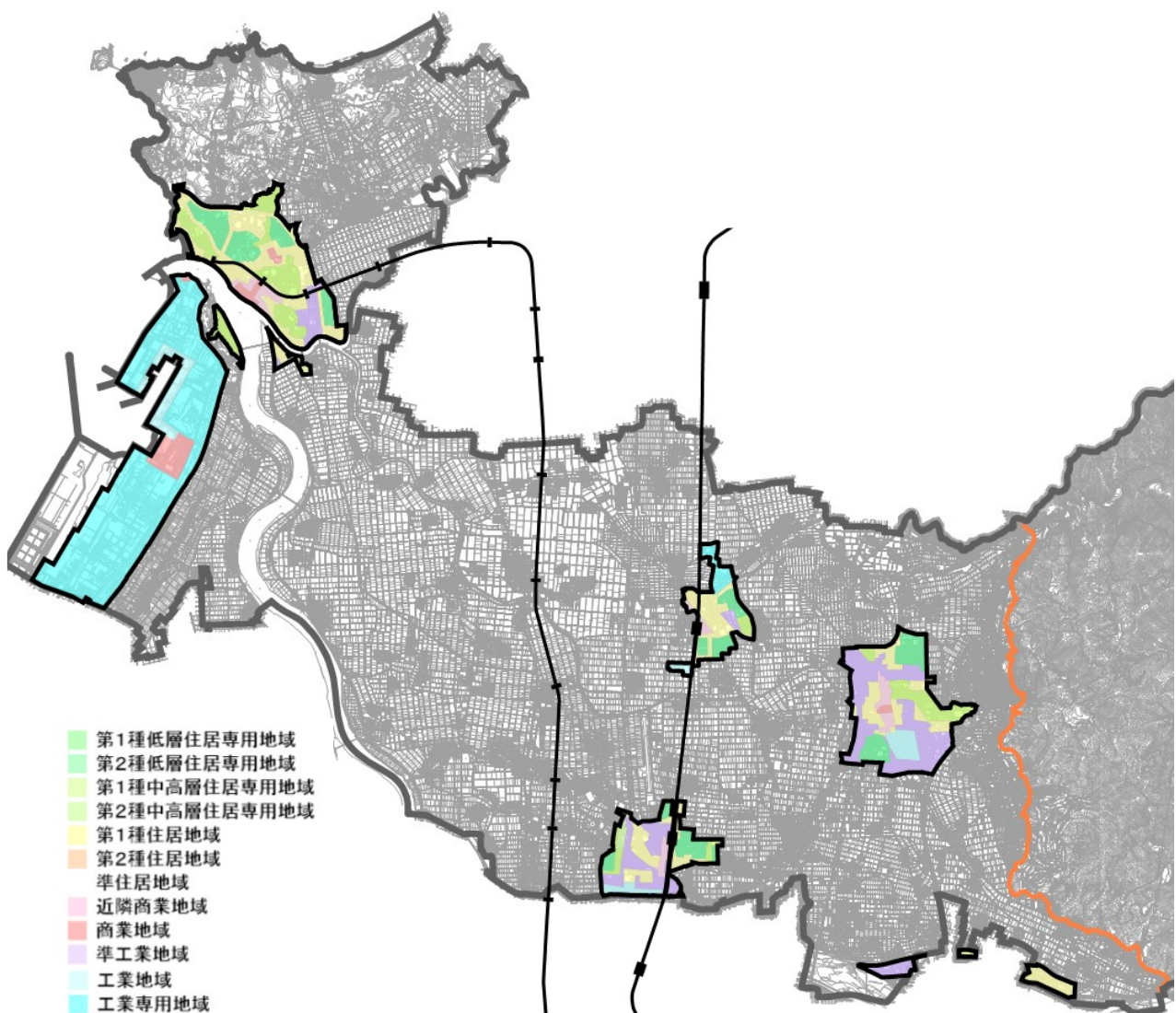


図 用途地域の指定状況

(4) 主要な都市機能の分布状況、利用圏の整理（令和3年8月時点）

① 医療施設

- ・医療施設の多くは市街地内に立地しており、特に三国駅周辺、丸岡支所周辺に集積しています。

病 院	医院・診療所（内科又は外科を含む）
4 箇所（坂井市立三国病院、宮崎病院、春江病院、藤田神経内科病院）	24 箇所

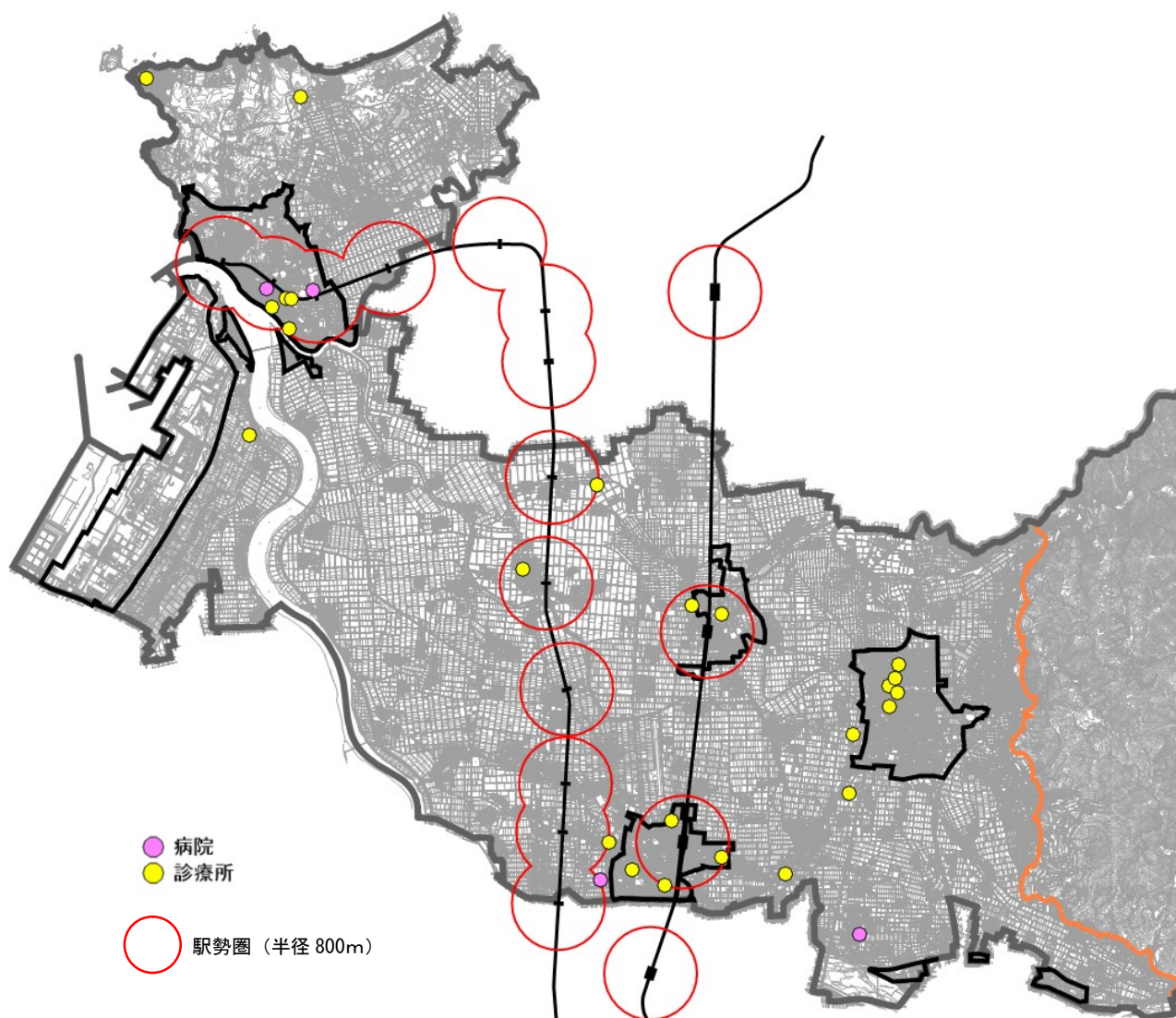


図 医療施設の分布状況（資料：国土数値情報、病院なび、庁内資料 等）

② 福祉施設

ア) 高齢者福祉施設

- ・ 高齢者福祉施設は市街地内だけでなく、郊外部での立地も多く見られ、市域のほぼ全域に点在しています。

通所系施設	訪問系施設	小規模多機能施設
46 箇所	25 箇所	8 箇所

※同一の施設系内、施設系相互で重複あり

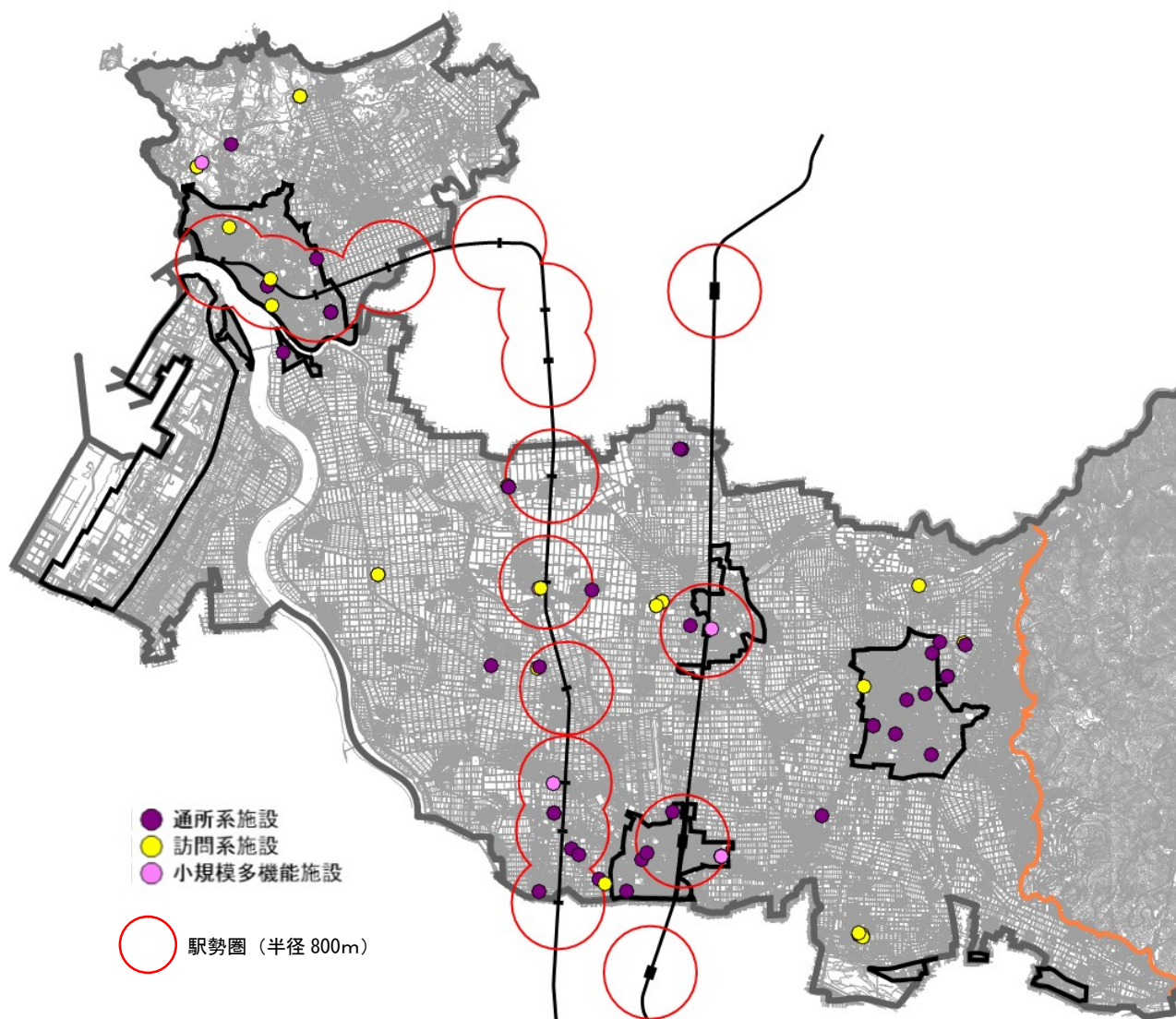


図 高齢者福祉施設の分布状況 (資料：庁内資料)

イ) 子育て支援施設

- ・子育て支援施設は市街地内だけでなく、郊外部での立地も多く見られ、市域のほぼ全域に点在しています。

子育て支援センター	幼保園	保育園・こども園	児童センター・児童館
7 箇所	10 箇所	22 箇所	44 箇所

※同一の施設系内、施設系相互で重複あり

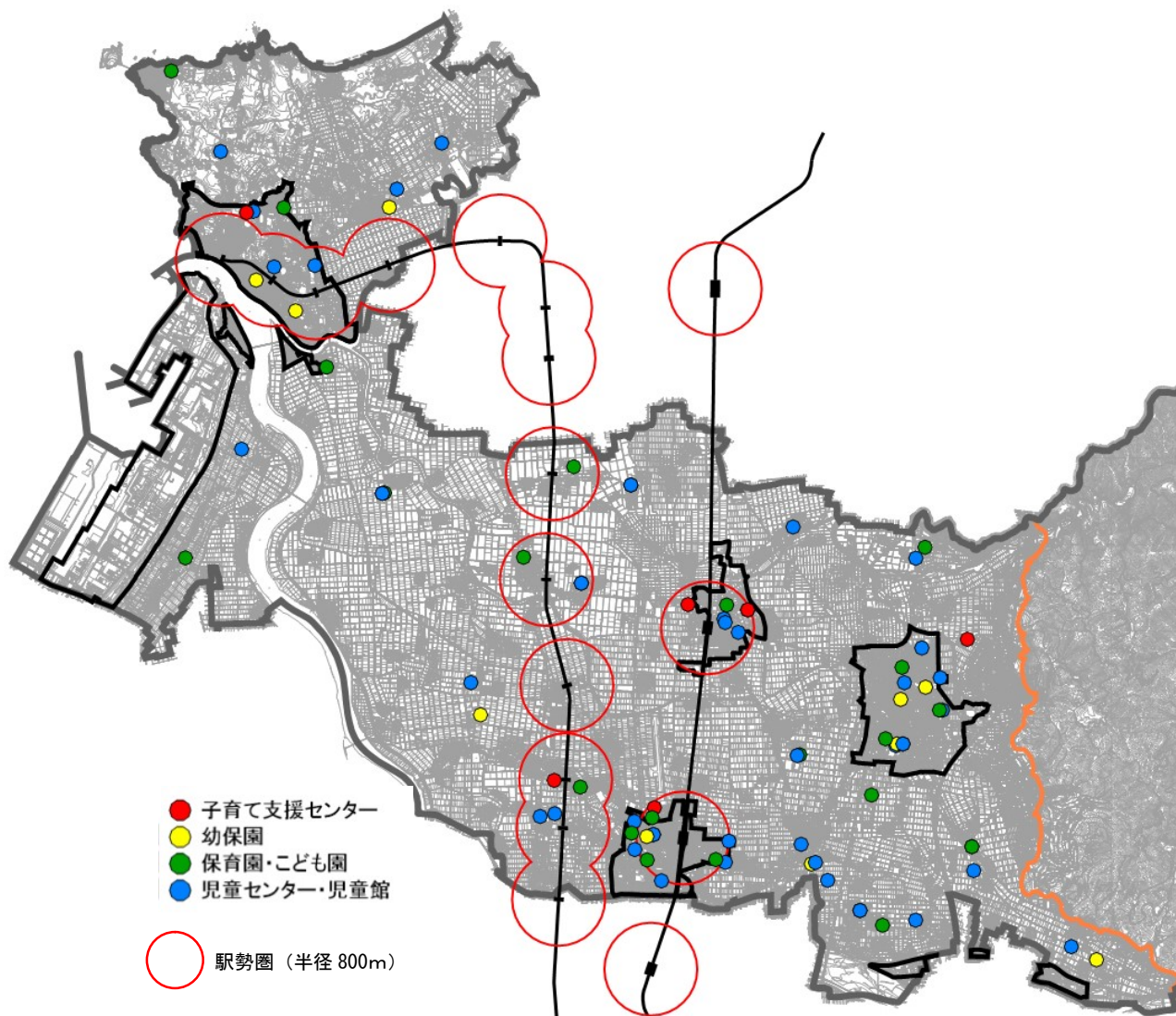


図 子育て支援施設の分布状況（資料：国土数値情報、坂井市ホームページ 等）

③ 公共施設

ア) 教育・文化施設

- ・ 小学校とコミュニティセンターは各地域に立地しており、中学校は市街地内に 2 箇所、市街地外に 3 箇所が立地しています。
- ・ 図書館、文化・交流施設の多くは市街地内に立地し、主に三国駅周辺、丸岡支所周辺に集積していますが、春江町、坂井町では市街地外に立地しています。

小学校	中学校	高校	図書館、文化・交流施設	コミュニティセンター
19 箇所	5 箇所	3 箇所	17 箇所	26 箇所

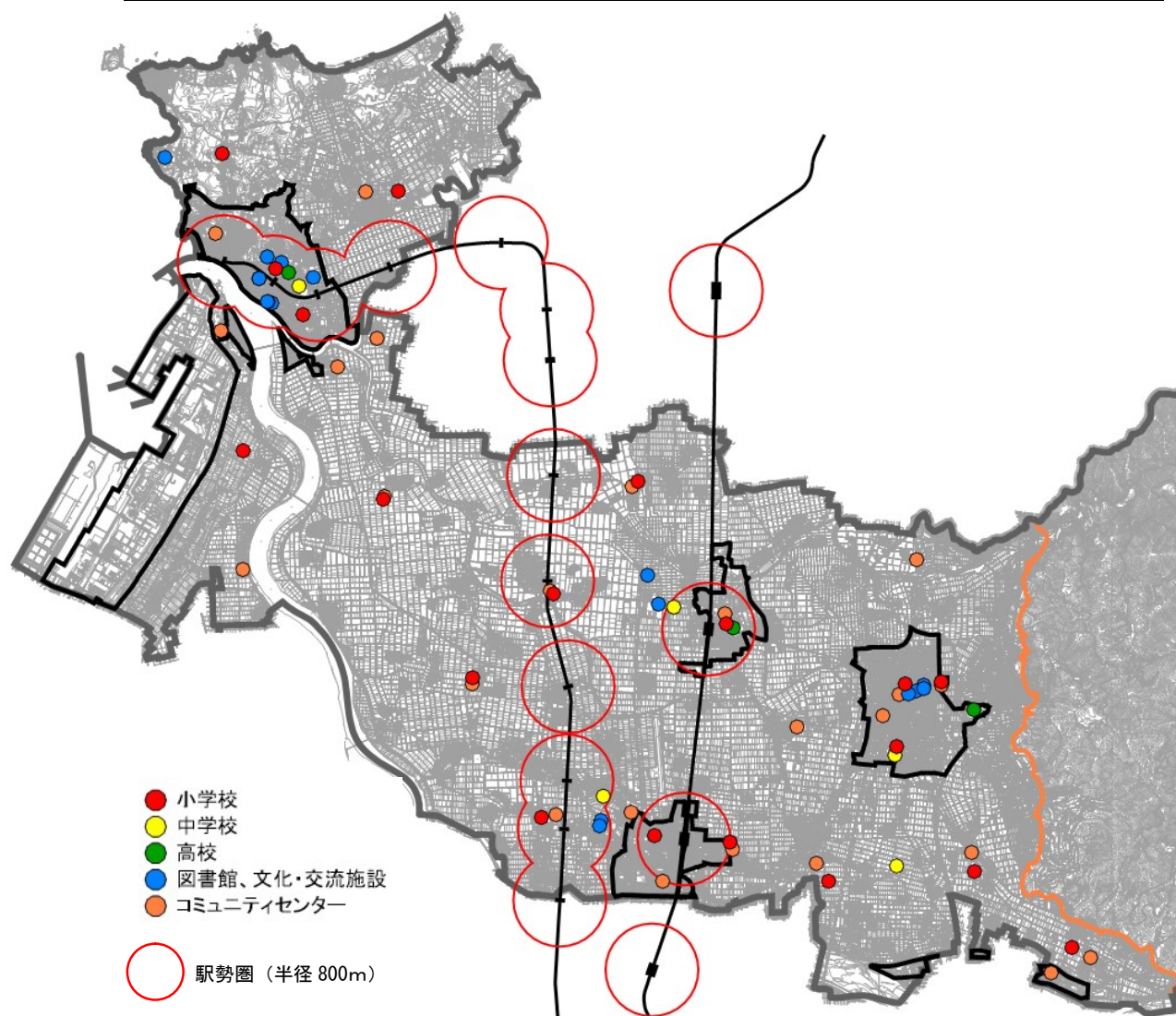


図 教育・文化施設の分布状況（資料：国土数値情報、坂井市ホームページ 等）

イ) 行政施設

- ・市役所・支所、消防は、各市街地内に立地しています。
- ・警察（交番、駐在所を含む）、郵便局は、市内の各地域に分散して立地しています。

市役所・支所	警 察	消 防	郵便局
4 箇所	14 箇所	4 箇所	22 箇所

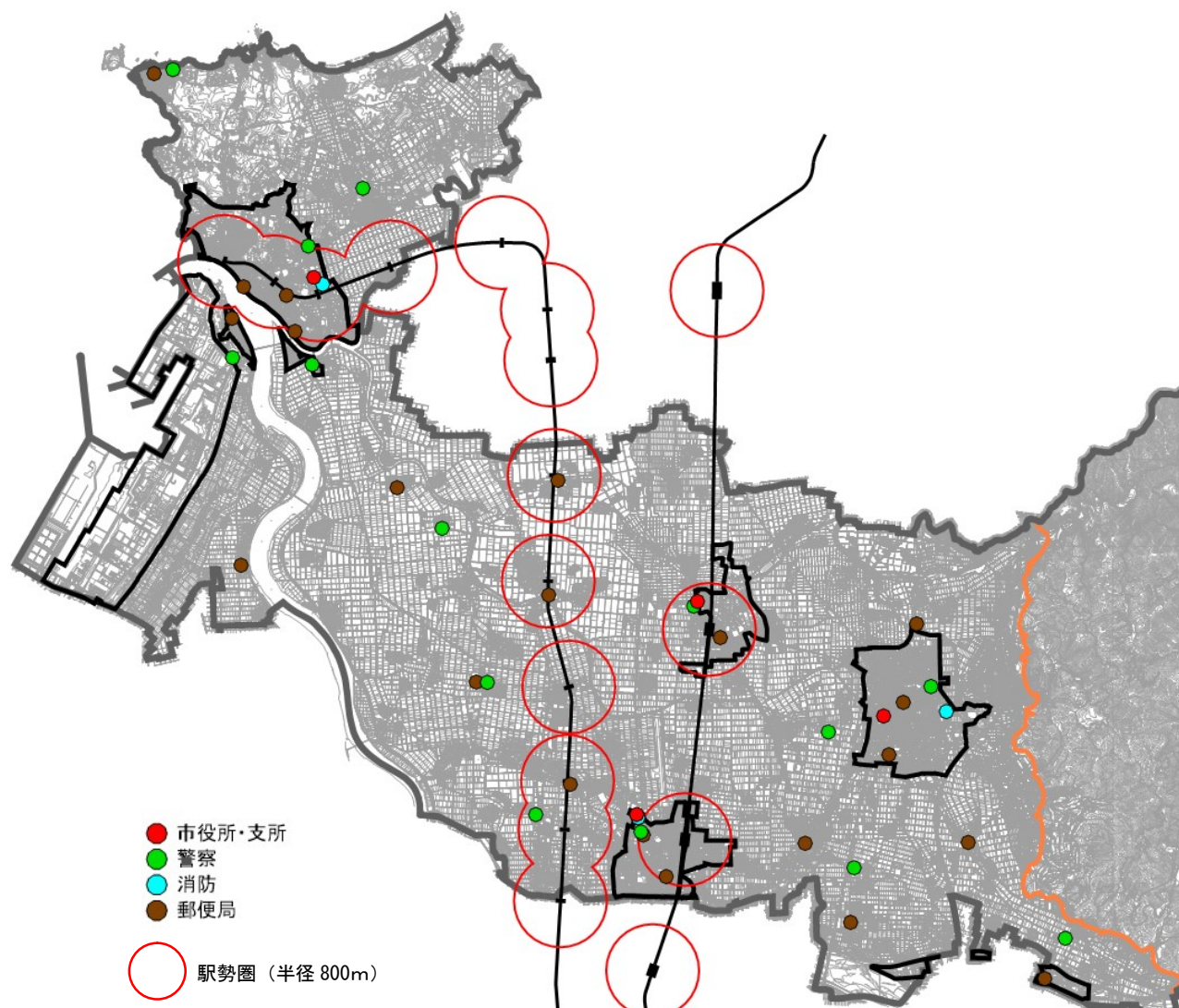


図 行政施設の分布状況（資料：国土数値情報、坂井市ホームページ 等）

④ 商業施設

- ・商業施設の多くは市街地内に立地していますが、スーパー等の一部は市街地外の幹線道路沿道に立地しています。
- ・コンビニエンスストアは、市内のほぼ全域に分散して立地しています。

スーパー等	ドラッグストア	コンビニエンスストア
13 箇所	16 箇所	34 箇所

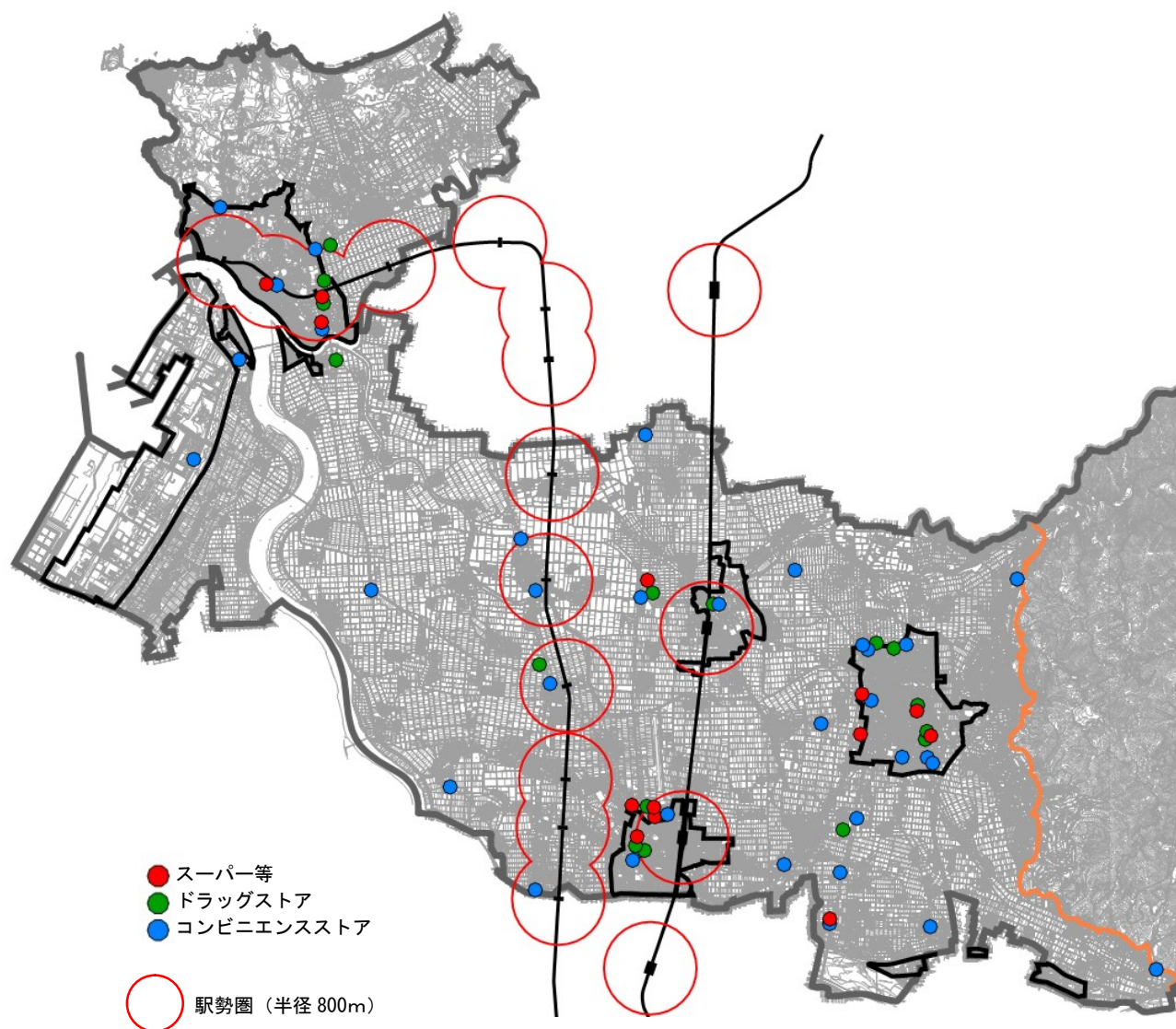


図 商業施設の分布状況（資料：iタウンページ 等）

(5) 経済活動

- ・事業所数は、平成6年（1994年）以降、一貫した減少傾向にあり、特に平成19年（2007年）から平成24年（2012年）にかけて大きく減少しています。
- ・従業者数は、平成19年（2007年）まではほぼ横ばいで推移していましたが、平成19年（2007年）から平成24年（2012年）にかけて大きく減少しています。
- ・年間商品販売額についても緩やかな減少傾向が続いています。

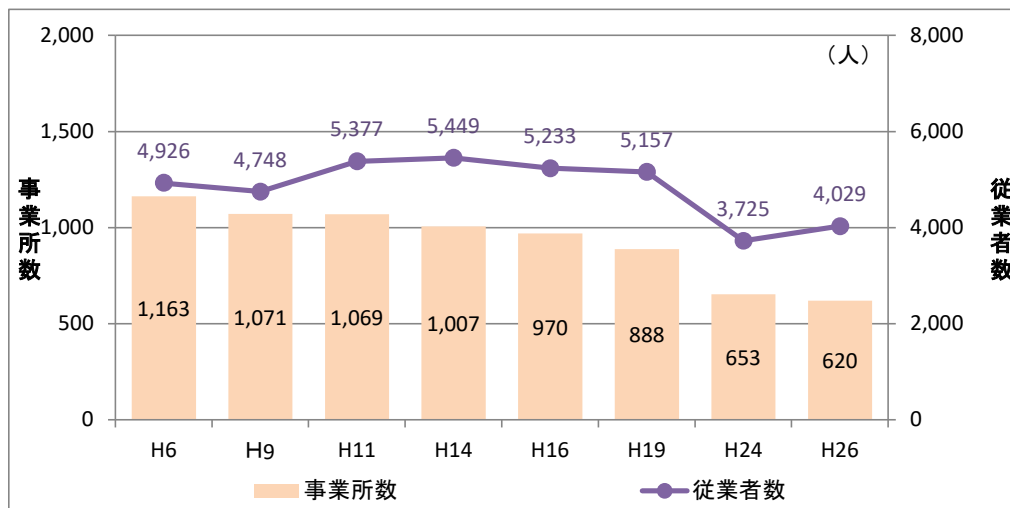


図 事業所数と従業者数の推移（資料：商業統計調査（H24は経済センサス））

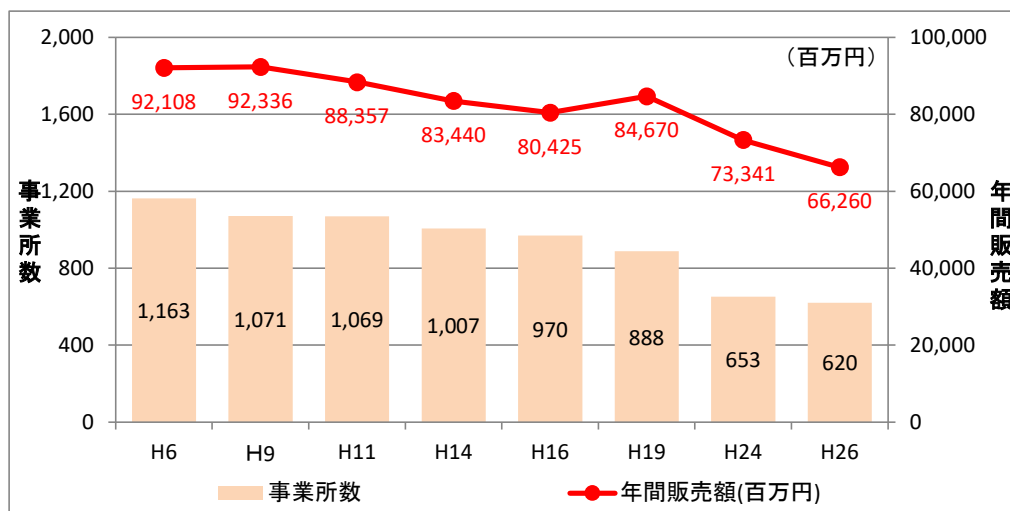


図 事業所数年間販売額の推移（資料：商業統計調査（H24は経済センサス））

- ・一方で、売場面積はほぼ横ばいで推移しており、売場効率（売場面積当たりの年間販売額）は低下しつつあります。

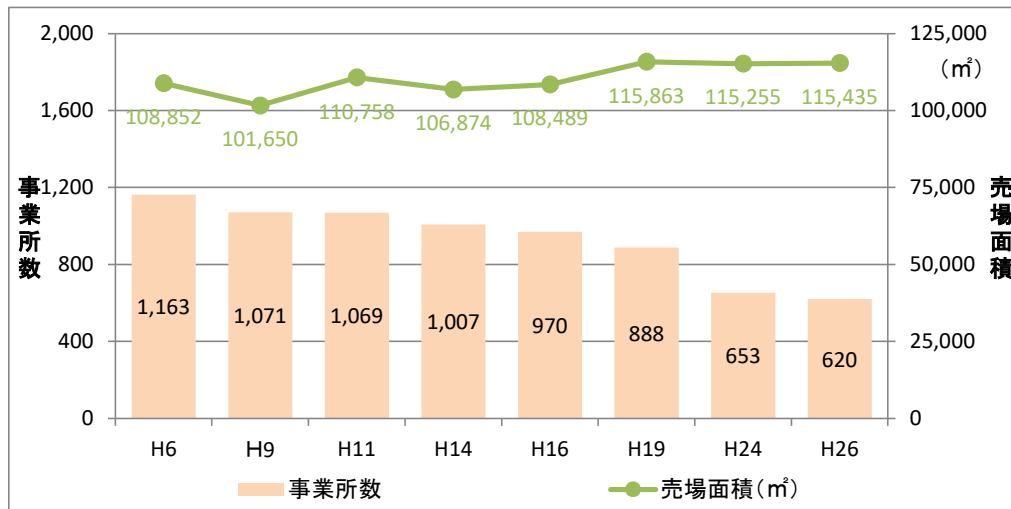


図 事業所数と売場面積の推移（資料：商業統計調査（H24 は経済センサス））

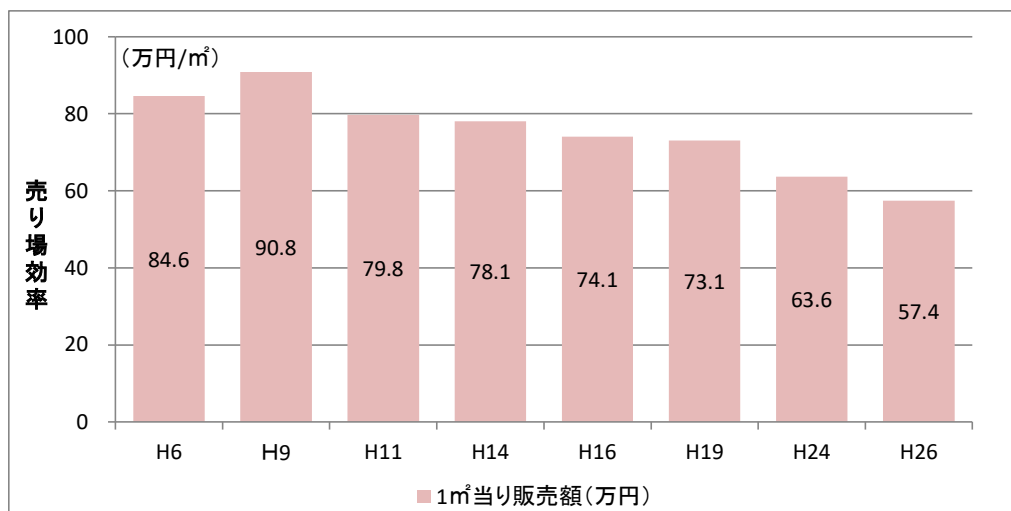


図 売場効率の推移（資料：商業統計調査（H24 は経済センサス））

(6) 地価

- ・住宅地、商業地、工業地のいずれも平成 27 年（2015 年）までは下落傾向が続いていましたが、その後はほぼ横ばいで推移し、令和 2 年（2020 年）以降は一部の住宅地や商業地で増加に転じています。
- ・用途地域の内外での傾向や金額の違いはあまりみられません。

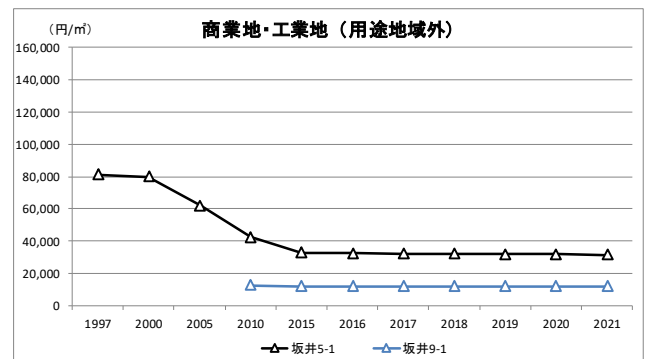
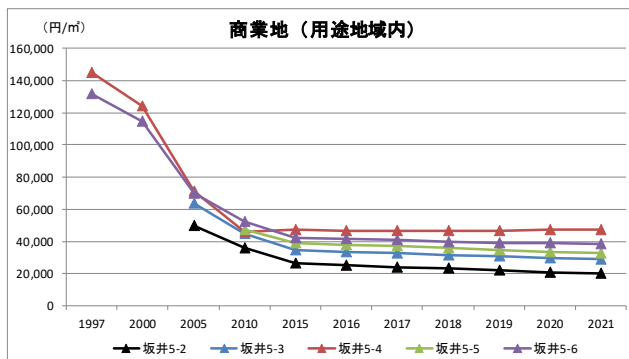
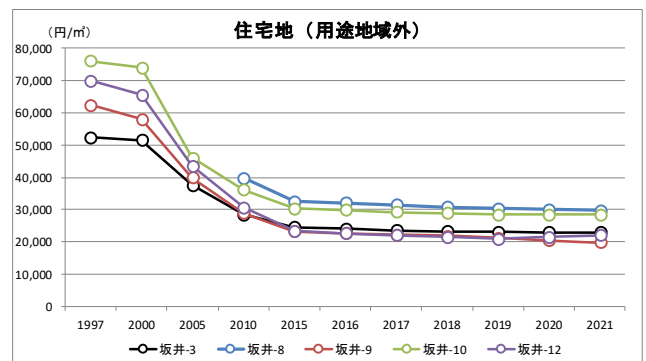
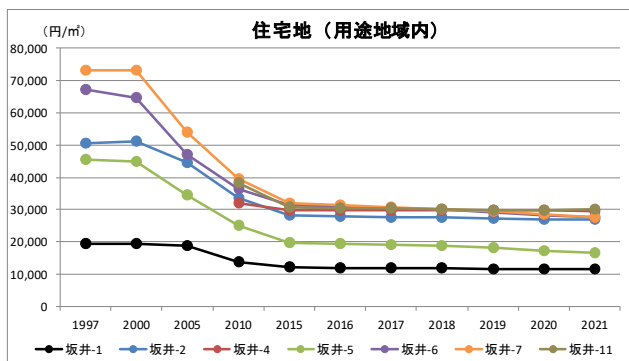
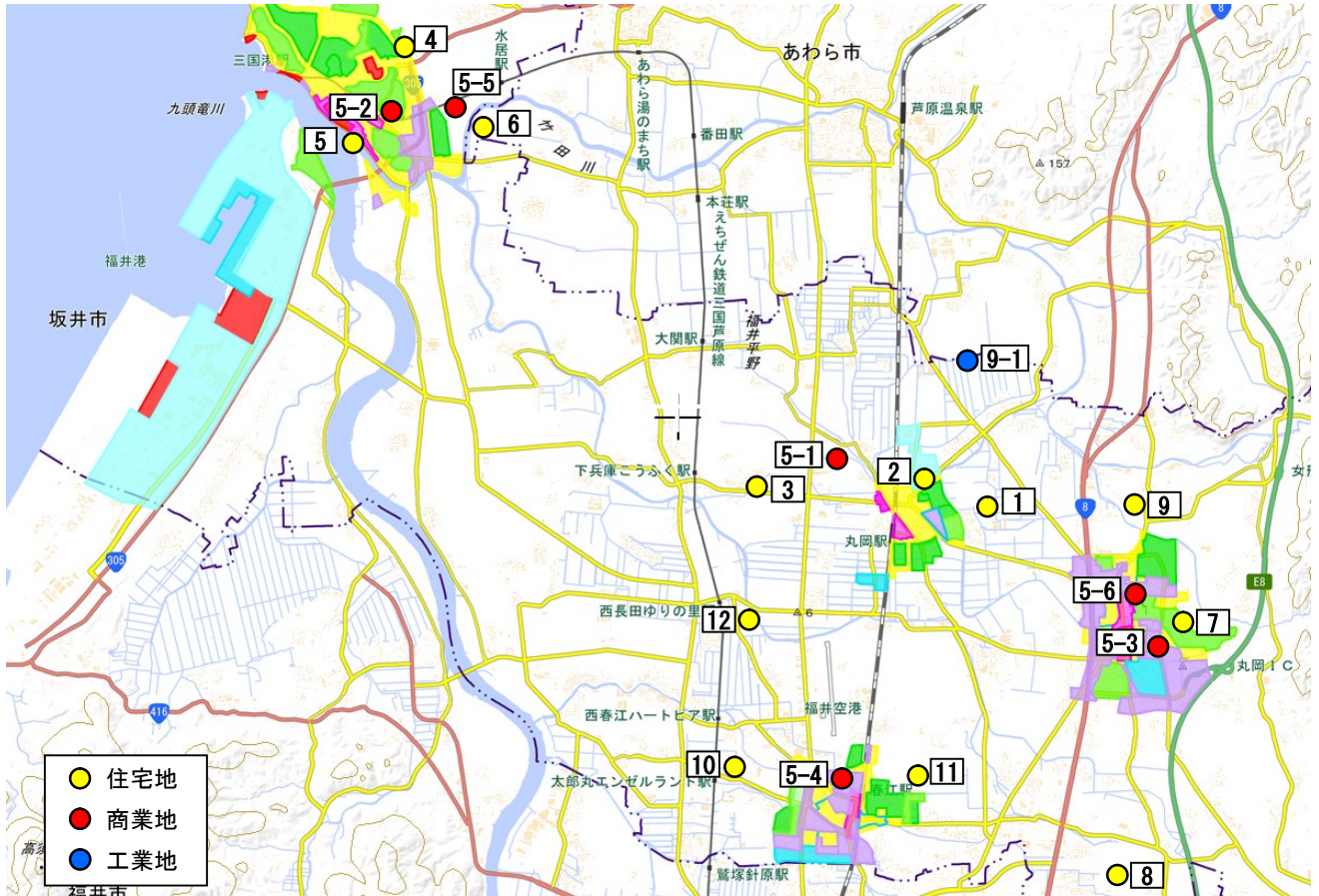


図 地価の推移（資料：福井県地価調査）

(7) 財政

① 歳入・歳出構造

- ・令和元年度（2019 年度）における歳入総額は 474 億円となっており、市税および地方交付税は減少傾向にある一方で、市債が増加傾向にあります。

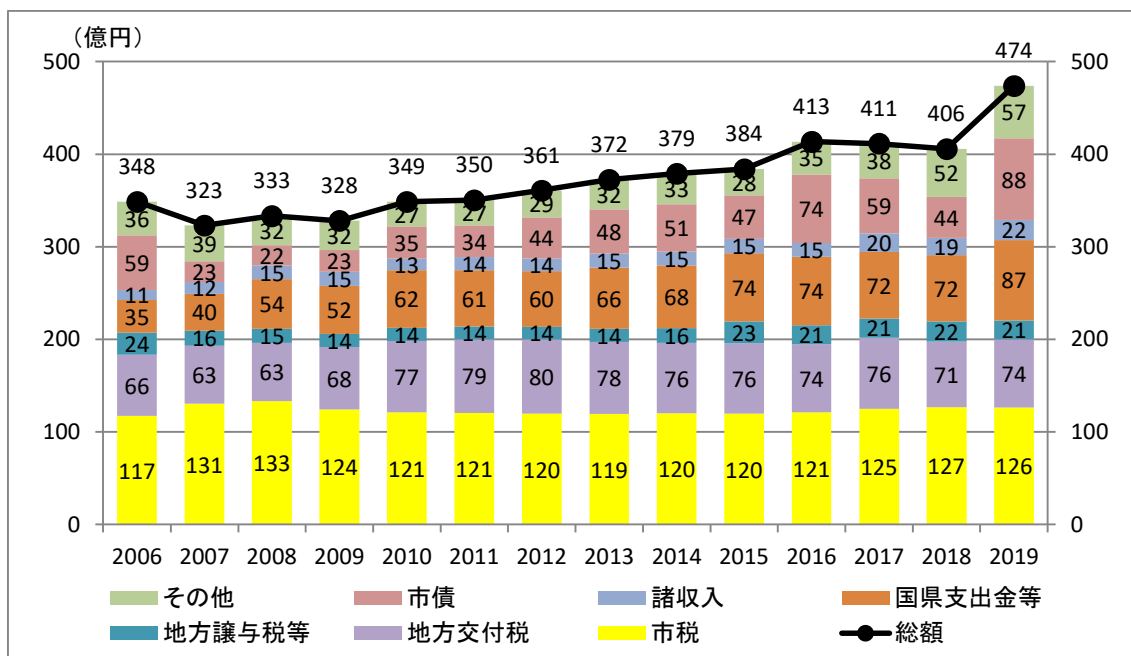


図 歳入の推移（資料：普通会計決算）

- ・高齢者の増加等に伴い、民生費、および歳出に占めるその割合は一貫して増加傾向にあります。一方で、土木費、およびその割合は減少傾向にあります。

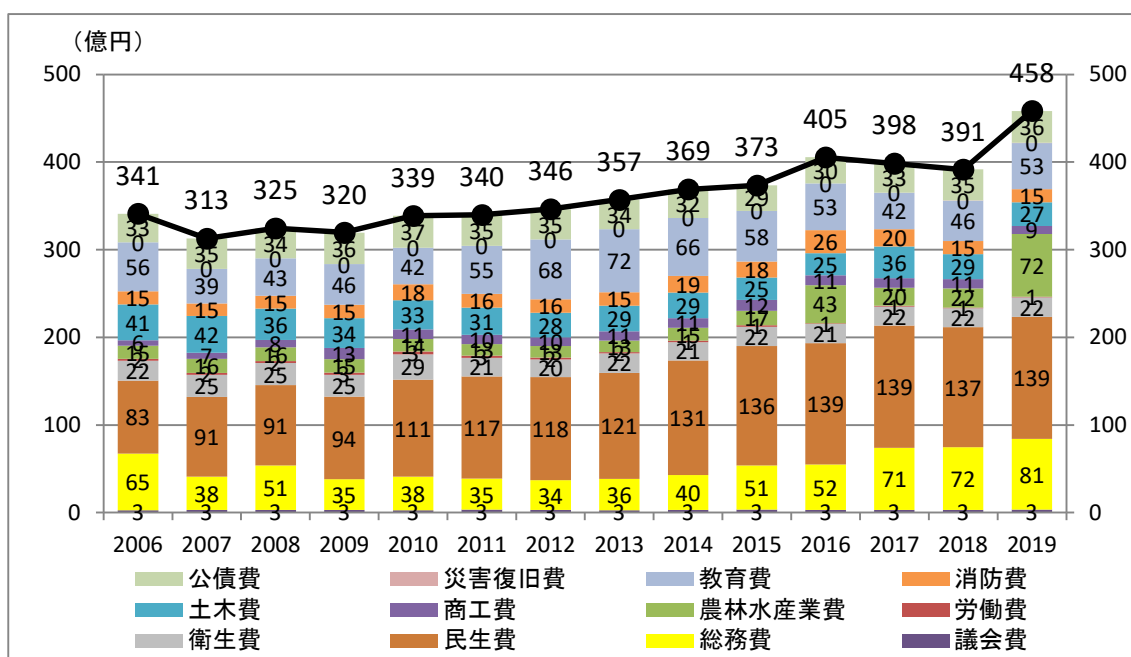


図 目的別歳出の推移

② 公共施設の状況

- ・坂井市の保有する公共施設を建築年別にみると、一般的に建物の大規模改修を行う目安とされる築30年以上を経過している建築物が全体の約56%を占めており、さらに10年後には約75%に達する見通しとなっています。

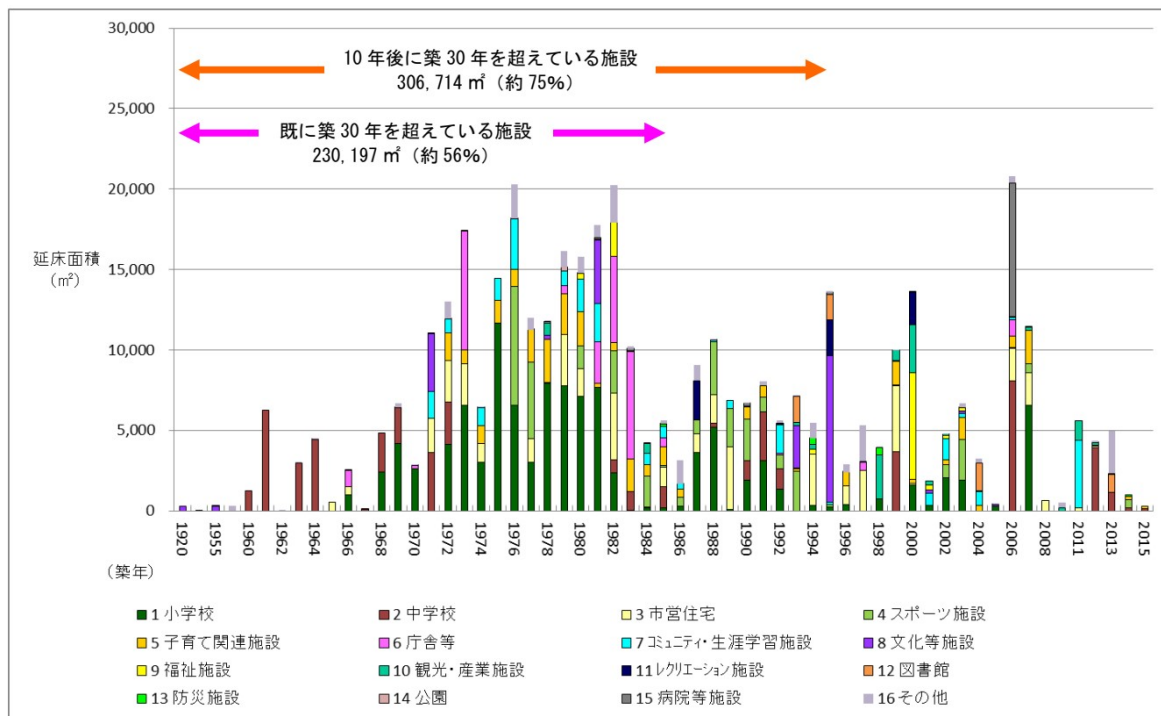


図 建築年度別整備延床面積（資料：坂井市公共施設等総合管理計画）

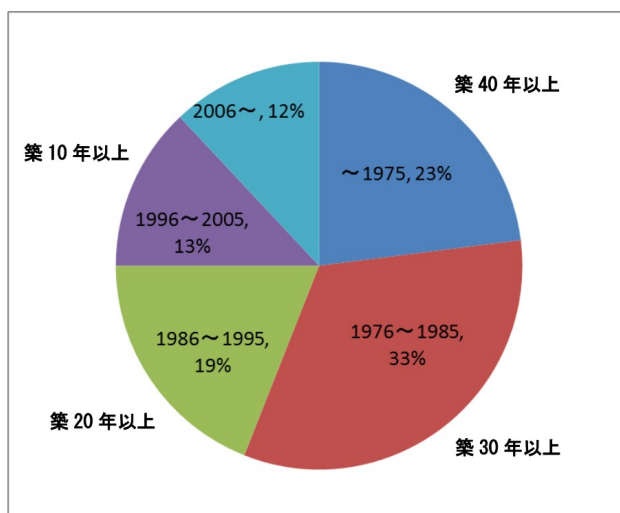


図 建築年別延床面積の割合（資料：坂井市公共施設等総合管理計画）

(8) 都市構造の評価

- ・都市構造の評価に関するハンドブック（国土交通省都市局都市計画課（平成 26 年（2014 年）8 月））に基づき評価対象分野ごとの評価を行います。

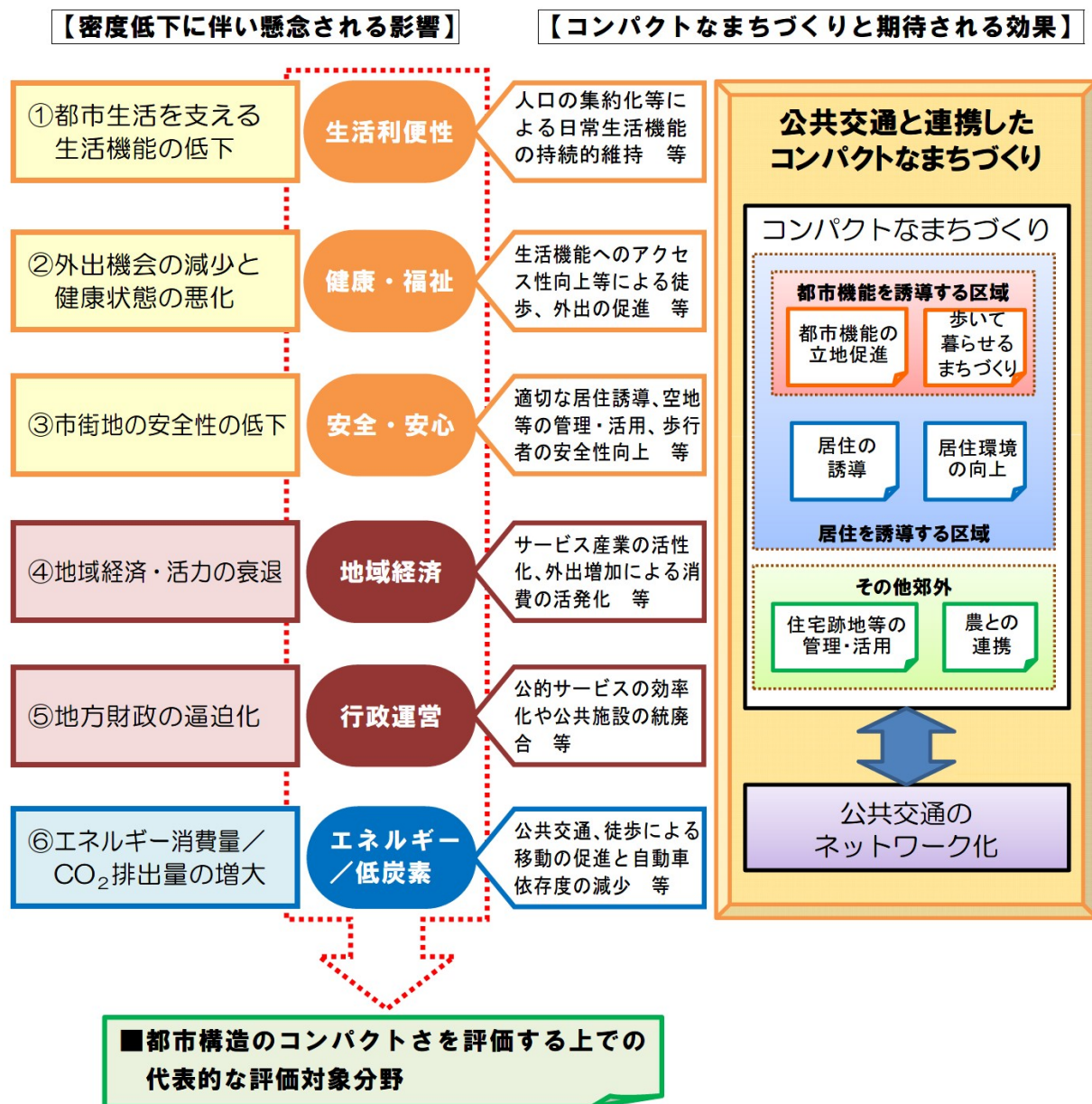


図 コンパクトなまちづくりと期待される効果

（出典：都市構造の評価に関するハンドブック（国土交通省都市局都市計画課（平成 26 年（2014 年）8 月）））

- ・評価指標は、10 万人以下の都市の平均値が示され、本市の実態と比較することで評価が可能な以下の指標とします。

表 坂井市の都市構造に係る評価項目

評価対象分野	評価指標	利用データ	算出方法
生活利便性	□公共交通利便性の高いエリアに存する住宅の割合	住宅・土地統計調査（H20） 都道府県編「最寄交通機関までの距離別住宅数」	市町村別の最寄交通機関までの距離別住宅数の総数に占める、駅まで1km圏内、もしくはバス停まで200m圏内の住宅数の割合
	□市民一人当たりの自動車総走行台キロ	道路交通センサス（H22）	乗用車の市区町村別自動車走行台キロ（台キロ/日）を都市の総人口で除して算出
健康・福祉	■高齢者徒歩圏に医療機関がない住宅の割合	住宅・土地統計調査（H20） 都道府県編「最寄医療機関までの距離別住宅数」	市町村別の最寄医療機関までの距離別住宅数の総数に占める500m以上の住宅数の割合
	□歩道整備率	道路交通センサス（H22）	歩道が設置された道路延長を一般道路実延長で除して算出
	■高齢者徒歩圏に公園がない住宅の割合	住宅・土地統計調査（H20） 都道府県編「最寄公園までの距離別住宅数」	市町村別の最寄公園までの距離別住宅数の総数に占める500m以上の住宅数の割合
安全・安心	■市民一人あたりの交通事故死亡者数	(財)交通事故総合分析センター 全国市区町村別交通事故死者数（H22）	1 万人あたり死者数
	■最寄り緊急避難場所までの平均距離	住宅・土地統計調査（H20） 都道府県編「最寄の緊急避難場所までの距離別住宅数」	最寄の緊急避難場所までの距離帯別住宅数に、距離帯の中間値を乗じた値を合計し、住宅総数で除して算出
	■空家率	住宅・土地統計調査（H20）	空家数（その他住宅）を住宅総数で除して算出
地域経済	■従業者一人当たり第三次産業売上高	経済センサス（H24） 第3次産業（電気・ガス、情報通信業、運輸業、金融業等の業務分類（F～R））の売上金額合計	第三次産業売上高を第三次産業従業者人口で除して算出
行政運営	□市民一人当たりの歳出額	統計で見る市区町村のすがた（H24）総務省 地方公共団体の主要財政指標一覧 「財政規模」	歳出決算総額を都市の総人口で除して算出
	□財政力指数	統計で見る市区町村のすがた（H24）総務省 地方公共団体の主要財政指標一覧 「財政力指数」	財政力指数
	■市民一人当たり税収額（個人市民税・固定資産税）	統計で見る市区町村のすがた（H22） 「市町村民税」、「固定資産税」	市町村民税及び固定資産税の総額を都市の総人口で除して算出
エネルギー/ 低炭素	■市民一人当たりの自動車 CO ₂ 排出量	（自動車走行台キロ） H22道路交通センサス（台キロあたりガソリン消費量）国土交通白書	小型車の自動車交通量（走行台キロ/日）に、実走行燃費を除いて燃料消費量を求め、燃料別CO ₂ 排出係数（ガソリン）を乗じて、年換算してCO ₂ 排出量を算出

※■：項目の代表的な指標

□：■の指標を代替、または補完する参考資料

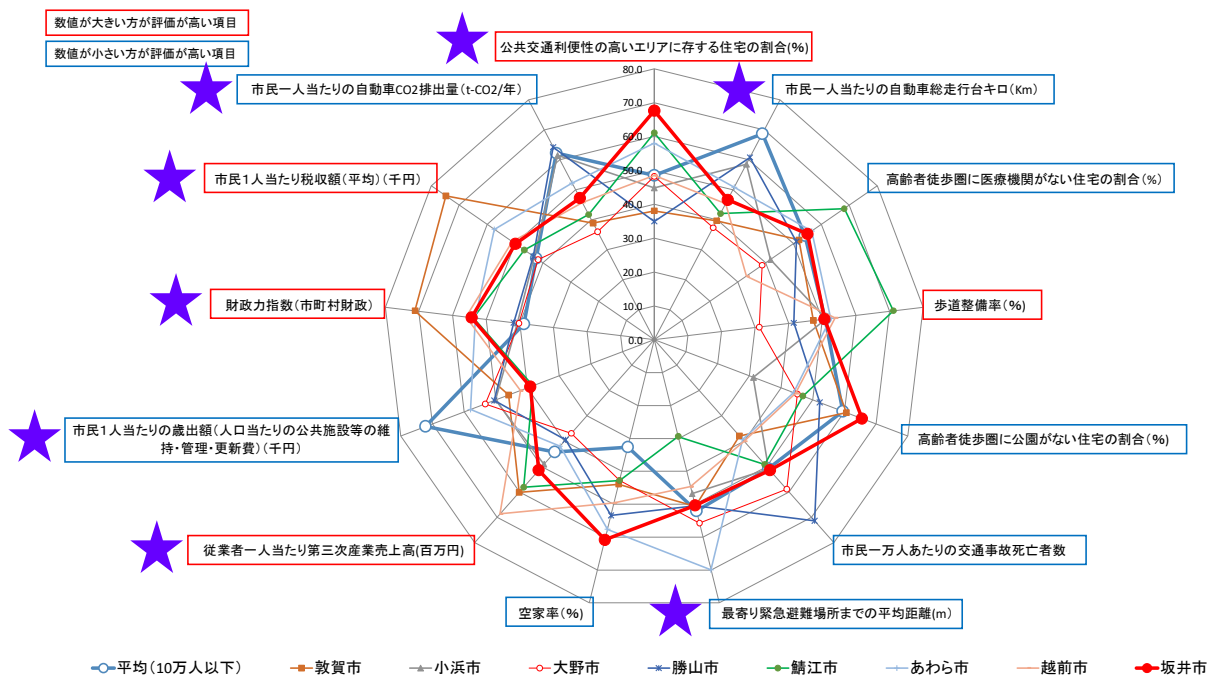
- ・坂井市では、公共交通の利便性や行政運営で評価が高くなっています。
- ・市民一人当たりの自動車総走行台キロは 10 万人以下の都市の平均よりも短く、自動車交通に依存しつつも、移動距離がコンパクトとなっていることがうかがえます。

表 坂井市の都市構造に係る評価結果

	生活利便性		健康・福祉		安全・安心			地域経済	行政運営			エネルギー/低炭素	
	公共交通利便性の高いエリアに存する住宅の割合(%)	市民一人当たりの自動車総走行台キロ(Km)	高齢者徒歩圏に医療機関がない住宅の割合(%)	歩道整備率(%)	高齢者徒歩圏に公園がない住宅の割合(%)	市民一人あたりの交通事故死亡者数	最寄り緊急避難場所までの平均距離(m)	空家率(%)	従業者一人当たり第三次産業売上高(百万円)	市民1人当たりの歳出額(人口当たりの公共施設等の維持・管理・更新費)(千円)	財政力指数(市町村財政)	市民1人当たり税収額(平均)(千円)	市民一人当たりの自動車CO2排出量(t-CO2/年)
坂井市	60.59	12.47	66.76	43.75	69.38	0.65	700.03	8.38	9.46	368.69	0.67	123.28	1.06
敦賀市	37.46	10.99	64.03	39.23	59.96	0.30	703.80	5.90	10.74	443.04	0.98	193.43	0.93
小浜市	42.78	14.99	54.92	44.38	3.13	0.64	650.30	9.21	9.12	488.07	0.42	104.35	1.27
大野市	45.44	10.48	52.23	17.17	29.98	0.85	774.46	5.73	7.34	523.78	0.41	100.36	0.89
勝山市	35.01	15.48	63.22	31.25	43.60	1.18	701.63	7.29	7.71	492.77	0.44	105.07	1.31
鯖江市	55.51	11.49	78.56	71.92	33.27	0.59	411.20	5.73	10.45	360.18	0.66	114.27	0.97
あわら市	53.09	13.36	68.12	46.34	27.72	0.33	970.02	7.92	8.08	574.14	0.65	144.56	1.13
越前市	45.65	12.20	47.15	48.11	28.92	0.35	621.67	6.73	11.98	402.86	0.70	126.68	1.03
10万人以下	45.69	17.16	65.92	43.99	57.74	0.63	722.99	4.23	8.42	728.21	0.38	102.30	1.28

赤文字 : 数値が大きい方が評価が高い項目
青文字 : 数値が小さい方が評価が高い項目

※各都市の数値を偏差値として表したものの（ここに掲げる各都市の平均が偏差値 50 となる）



★ : 10 万人以下の都市の平均値よりも評価が高い項目

図 坂井市の都市構造に係る評価結果（偏差値をグラフ表示）